

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : Non – flammable gas mixture
製品番号 : G2933–85193, 196000107
供給者/ 製造者 : 会社名 Agilent Technologies, Inc.
住所 2850 Centerville Road Wilmington
Delaware 19808, USA
緊急連絡用電話番号(受付時間) : Chemtrec: +(81)–345209637

化学製品の推奨される用途

分析化学。
30ALアルミニウムシリンダーは、144立方フィートのガス混じります

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 高圧ガス – 圧縮ガス

GHSラベル要素

危険有害性の絵文字 :



注意喚起語 : 警告
危険有害性情報 : 加圧ガス; 熱すると爆発のおそれ。
注意書き
安全対策 : 該当せず。
応急措置 : 該当せず。
保管 : 日光から遮断すること。
廃棄 : 該当せず。

分類されていない他の危険有害性 : 単純な窒息剤として作用する。高濃度では、通常の空気と置き換わり、酸素欠乏による呼吸困難を引き起こすおそれがある。

3. 組成及び成分情報

物質/製剤 : 混合物
化学名 : データなし。
CAS番号/他の特定名
CAS 番号 : 該当せず。
ENCs 番号 : データなし。
ISHL 番号 : データなし。

提供者の現在の知識の範囲および該当する濃度では、本製品の成分の中には健康または環境に対して有害危険性であると分類されるためこのセクションで報告が義務づけられている成分は含まれていません。

職業性暴露限界がある場合、セクション8に記載されている。

4. 応急措置

必要な応急処置の説明

目に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

4. 応急措置

- 皮膚に触れた場合** : 石鹼と水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服および靴を脱がせる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。
- 飲み込んだ場合** : この製品は気体であるため、吸入に関するセクションを参照のこと。

最も重要な急性および遅発性の症状/影響

起こりうる急性毒性

- 目に入った場合** : 急速に拡散しつつあるガスに接触すると火傷または凍傷を起すことがある。
- 吸入した場合** : 高濃度では、通常の空気と置き換わり、酸素欠乏による呼吸困難を引き起こすおそれがある。
- 皮膚に触れた場合** : 急速に拡散しつつあるガスに接触すると火傷または凍傷を起すことがある。
- 飲み込んだ場合** : この製品は気体であるため、吸入に関するセクションを参照のこと。

過剰暴露の徴候/症状

- 目に入った場合** : 明確なデータは無い。
- 吸入した場合** : 明確なデータは無い。
- 皮膚に触れた場合** : 明確なデータは無い。
- 飲み込んだ場合** : 明確なデータは無い。

必要に応じた速やかな医師の手当てと必要とされる特別な処置の指示

- 医師に対する特別注意事項** : 症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。
- 応急措置をする者の保護** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならぬ。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。
- 特定の治療法** : 特定の治療法はない。

有害性情報を参照(セクション11)

5. 火災時の措置

消火剤

- 適切** : 火災に応じた消火剤を使用する。
- 不適切** : 認知済みのものは無し。

特定の危険有害性

- : 加圧ガスを含む。火災及び加熱により、圧力の上昇が起こり、容器が破裂あるいは爆発することがある。

- 有害な熱分解生成物** : 明確なデータは無い。

消火を行う者に対する注意事項

- : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。直ぐに供給元へ連絡し、専門家の助言を受ける。危険でなければ、火災現場から容器を移動させる。ウォータースプレーを使用して火気にさらされた容器を冷温に保つ。

消防士用の特殊保護具

- : 消防士は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具(SCBA)を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 緊急時要員以外の人員用** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。ガスの吸入を避ける。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時の責任者用** : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報を注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項

- : 環境汚染を避けるため、偶発的なガス漏れに対する緊急措置を確実に実行する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込めおよび洗浄に関する方法および材料

- : 直ちに緊急要員に連絡する。危険性がなければ、漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 安全に取扱うための注意事項** : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。加圧ガスを含む。眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。ガスの吸入を避ける。換気が十分な場所でのみ使用する。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。容器が空でも製品の残留物が残存して有害危険性がある。容器は、穴を開けたり、焼却したりしてはならない。
- 安全に保管するための注意事項** : 次に示す温度以上で保管しない: 52° C (125.6° F)。現地法に従って保管する。隔離され認定された場所に貯蔵する。換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)から離して保存する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

職業暴露限界

確認済み曝露限界値はない。

推奨される測定方法

: 当製品が暴露限界を有する物質を含む場合、個人、作業場の空気、あるいは生物学的なモニタリングを行い、換気等の管理手段の有効性、および呼吸器保護具を使用する必要性、あるいはそのいずれかを明らかにする必要がある。

適切な技術的管理

: 換気が十分な場所でのみ使用する。行程囲壁、局所排気通風装置あるいはその他の技術的管理設備を使用し、作業者が暴露される空中浮揚汚染物質濃度をあらゆる推奨あるいは法定暴露限界以下に保つ。

環境暴露管理

: 換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。場合によっては排出物を許容レベル以下に下げたために煙霧清浄機やフィルター、あるいは行程装置の技術的改良が必要になることもある。

個人の保護措置

衛生措置

: 化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙およびトイレの使用前および作業時間の最後に、必ず手、前腕および顔を洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

呼吸器の保護具

: リスク評価により必要性が示されたときは、承認された基準に合格した、身体に良く合った空気清浄機能付きまたは給気式の呼吸保護具を使用する。作業条件により高濃度のガスが発生する場合、あるいは勧告又は制定法上の暴露限界を超える場合は、空気供給型呼吸器か自給式呼吸装置を装着する。ガスは空気中の酸素を置換することにより、前兆なしに窒息を起す可能性がある。使用する呼吸保護具は、既知もしくは予測される暴露量、製品の危険有害性、選択される呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択しなければならない。

手の保護具

: リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

目の保護具

: リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。

皮膚の保護

: 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態

: ガス。

色

: 無色。

臭い

: 無臭。

臭気閾値

: データなし。

pH

: データなし。

融点

: データなし。

沸点

: -268.9° C (-452° F)

引火点

: データなし。

蒸発速度

: データなし。

引火性(固体、気体)

: 次の物質および条件の存在下で引火性: 裸火、火花、および放電。

爆発(燃焼)限界の上限および下限

: データなし。

蒸気圧

: データなし。

蒸気密度

: データなし。

9. 物理的及び化学的性質

比重	: 0.1381 [空気 = 1]
溶解度	: 以下の物質に極わずかに可溶性: 冷水 および 温水。
オクタノール/水分配係数	: データなし。
分解温度	: データなし。
自己発火温度	: データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性	: この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: 製品は安定である。
危険な反応の可能性	: 通常の貯蔵および使用条件下で、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: 低所及び閉所にガスが貯留しないようにする。
混触危険物質	: データなし。
危険有害な分解生成物	: 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

毒物学的作用に関する情報

急性毒性

データなし。

刺激性/腐食性

データなし。

感作性

データなし。

慢性毒性 / 発がん性 / 変異原性 / 催奇形性 / 生殖毒性

データなし。

特定標的臓器 / 全身毒性(単回暴露)

データなし。

特定標的臓器 / 全身毒性(反復暴露)

データなし。

呼吸に対する危険有害性

データなし。

可能性のある暴露経路について
の情報 : データなし。

起こりうる急性毒性

目に入った場合	: 急速に拡散しつつあるガスに接触すると火傷または凍傷を起すことがある。
吸入した場合	: 高濃度では、通常の空気と置き換わり、酸素欠乏による呼吸困難を引き起こすおそれがある。
皮膚に触れた場合	: 急速に拡散しつつあるガスに接触すると火傷または凍傷を起すことがある。
飲み込んだ場合	: この製品は気体であるため、吸入に関するセクションを参照のこと。

物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状

目に入った場合	: 明確なデータは無い。
吸入した場合	: 明確なデータは無い。
皮膚に触れた場合	: 明確なデータは無い。
飲み込んだ場合	: 明確なデータは無い。

11. 有害性情報

遅発性および即時性の影響ならびに短期および長期の暴露による慢性的な影響

短期暴露

- 潜在的な即時性作用 : データなし。
潜在的な遅発性作用 : データなし。

長期暴露

- 潜在的な即時性作用 : データなし。
潜在的な遅発性作用 : データなし。

健康への慢性効果の可能性

- 概要 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
発がん性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
変異原性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
催奇形性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
発育への影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
生殖能力に対する影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

毒性の数値化

急性毒性の推定

急性毒性推定値(ATE値)

データなし。

12. 環境影響情報

毒性

データなし。

残留性/分解性

データなし。




その他の悪影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。大量の老廃物質残渣は、下水設備を通して廃棄してはならず、適切な廃水処理施設で処理しなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。空の圧力容器は供給者に返却しなければならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。容器は、穴を開けたり、焼却したりしてはならない。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	UN1956	UN1956	UN1956
UN正式輸送品目名	COMPRESSED GAS, N.O.S. (ヘリウム)	COMPRESSED GAS, N.O.S. (Helium)	Compressed gas, n.o.s. (Helium)
輸送危険有害性クラス	2.2 	2.2 	2.2 
パッキンググループ	-	-	-

14. 輸送上の注意

環境有害性	該当せず。	No.	No.
使用者のための特別な予防措置	データなし。	データなし。	データなし。
追加情報	-	<u>Emergency schedules (EmS)</u> F-C, S-V	<u>Passenger and Cargo Aircraft</u> Quantity limitation: 75 kg Packaging instructions: 200 <u>Cargo Aircraft Only</u> Quantity limitation: 150 kg Packaging instructions: 200 <u>Limited Quantities - Passenger</u> <u>Aircraft</u> Quantity limitation: Forbidden Packaging instructions: Forbidden

15. 適用法令

日本の管理法令

火薬類取締法 : データなし。
 高圧ガス保安法 : 有毒ガス。

消防法 : データなし。 指定数量 : データなし。
 消防法 : データなし。 指定数量 : データなし。
 要届出物質 : データなし。 指定数量 : データなし。
 消防法 - 妨害物質 : 非該当

性質 : データなし。
 危険等級 : データなし。

毒物及び劇物取締法

	成分名	状況	%
劇物	メタノール	該当	<0.1
毒物	記載された成分なし。		
特定毒物	記載された成分なし。		

特定化学物質の用途 : データなし。

労働安全衛生法 : データなし。

有機則 : データなし。

鉛中毒予防規則 : データなし。

職業病 : データなし。

海洋汚染および海洋災害防止法 : データなし。

危険物の海上運送規制に関する通達 : 危告示2 (高圧ガス)

航空法 : 危告示2 (高圧ガス)
(IATAのその他の情報に関してはセクション14を参照して下さい。)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

リストに記載された物質はない

道路法 : データなし。

15. 適用法令

- 日本産業衛生学会 発がん性物質 : データなし。
 労働安全衛生法: 第十八 - 四アルキル鉛等業務 : 非該当
 労働安全衛生法: 第十八 - 製造の許可 : 非該当
 労働安全衛生法: 第十八 - 製造等の禁止 : 非該当
 労働安全衛生法 - 名称等を通知すべき危険物及び有害物 : 非該当
 労働安全衛生法: 第十八 - 危険物 : 非該当
 特別管理産業廃棄物リスト : 非該当

化審法 (監視, 特定化学物質)

成分名	分類
2-エトキシ-2-メチルプロパン イソブタノール 2-メチルプロパン-2-オール	第2種監視 第2種監視 第2種監視

- 生分解性 : データなし。
 魚に蓄積した化学物質の濃度 : データなし。

- 日本インベントリ : 未確定。
 その他の規定 : データなし。
 製品特有の安全、健康および環境に関する法規 : この製品(その成分を含む)に適用される可能性のある特定の国および/または地域の規則は知られていない。

16. その他の情報

ヒストリ

- 発行日/改訂版の日付 : 13/06/2012
 前作成日 : 07/04/2011.
 バージョン : 2
 参照 : データなし。
 前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

使用者への注意: このデータシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。